

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

千代治のくつ下

千代田繊維工業株式会社

消費者目線でブランド展開 多彩な編み機でラインアップ増やし ネット販売から実店舗オープンへ

10数年前、同社の事業は苦境に陥っていました。海外の安価な製品との競争で、下請け、孫請けで仕事を受けていた先からの受注が激減していたのです。活路を見出そうと挑んだのがネットでの直接販売です。それまで経理事務を担当していた長谷川好信社長の妻、郁子さんが手探りでスタートさせました。

その後、冷え性に悩む女性が重ね履きする「冷えとり靴下」なるものがヒットしていることが分かりました。よりかわいいデザインにして商品化するとともに、顧客の間口を広げるために、綿の靴下を1足600円という手頃な価格で30色そろえました。「市場のニーズを踏まえながら、デザインも価格設定も私だったら買いたくなるかどうかを基準に考えました」と郁子さん。

商品ラインアップを増やしていく上で強みになったのが機械の種類の多さです。下請けをしていた時には非効率でしたが、五本指、パイル編み、あぜ模様などが可能な編み機の存在が、がぜん輝きを増し始めました。パイル編みを生かした「トレッキングソックス」のほか、「シルク



神戸国際会館SOL内の店舗。ニット小物も人気の

の五本指ソックス」など次々にヒット商品を生み出していきます。設備投資の余力ができてからは横編み機なども導入し、手袋やマフラー、ベストなどニット小物のラインアップも増やしています。

2016年には本社工場横に実店舗を、17年には三宮にある神戸国際会館の商業施設に出店も果たし、「千代治のくつ下」のブランドは着実に浸透しつつあります。社長の長男で販売企画部長を務める貴也さんは17年に大手プラント会社を退職し、ふるさと加古川に戻ってきました。「メーカー直販の強みを生かしていいものを手頃なという両親たちの思いを大事にしながら、技術者の不足や機械の老朽化などの課題に向き合い、ものづくりの環境を整え、よりよい靴下作りに取り組んでいきたい」と貴也さん。21年に創業70年を迎える靴下メーカーの第二創業は、これからさらなる飛躍期を迎えようとしています。



「千代治のくつ下」の各種靴下

◎千代田繊維工業株式会社の
千代治のくつ下

千代田繊維工業株式会社 / 所在地: 加古川市志方町永室219-1 / 代表取締役社長: 長谷川好信
事業内容: 靴下の製造・販売
TEL 079-452-0243 / URL <https://www.chiyodaseni.com/>

編集後記

「成長期待企業のイチオシ!」で訪ねた千代田繊維工業。一時は廃業も考えたほどのどん底から這い上がったのは、徹底した一般消費者の目線でした。取材中、工房にも近所に住んでおられるという女性客がひっきりなしに商品の購入に訪れていました。

JUMP

2019年2月号 平成31年1月30日発行
発行人: 赤木正明 編集人: 安部則行

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-ic.ne.jp/>